

WHO ファクトシート

ミレニアム開発目標 (MDGs)

Millennium Development Goals (MDGs)

ファクトシート No. 290

2015 年 5 月

重要な事実

- ・世界では 5 歳未満の子どもの死亡数は、1990 年の 1270 万人から、2013 年の 630 万人に減少した。
- ・途上国では、5 歳未満の低体重児の割合は、1990 年の 28%から 2013 年の 17%に低下した。
- ・世界全体で HIV の新規感染は、2001 年から 2013 年にかけて 38%減少した。
- ・結核症例は減少しており、HIV 非感染の結核患者の死亡数も減少している。
- ・2010 年、安全な飲み水へのアクセスという国連ミレニアム開発目標については、改善された飲用に適した安全な水源へのアクセスという代理指標でも明らかになったように、目標を達成した。しかしながら、衛生分野における目標達成のためにはまだまだ努力が必要である。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Millennium Development Goals ファクトシート原文は [こちら](#)